



向陽高等学校・中学校は、SSH再指定（5年間）の2年目に入りました。

1年環境科学科 「SS環境科学」「SS探究科学Ⅰ」の授業では

「SS環境科学」の授業では、自然科学と社会科学の両面から、環境問題について学習を深めていきます。「SS探究科学Ⅰ」の授業では、科学英語読解や外国人研究者の講演、物理、化学、生物の各分野の実験の講座やフィールドワーク等を行っていきます。5月25日（金）には、「和歌山市内河川水質調査」のフィールドワークを行いました。また、「SS探究科学Ⅰ」の授業では、「地球温暖化」をテーマとした科学英語の学習も始まっています、後半からは、物理・化学分野、生物分野の発展的な実験・実習も行われます。一年を通して、さまざまなSSH活動を体験していくことになります。楽しみながら、探究心を育てていって欲しいと思います。



2年環境科学科 「SS探究科学Ⅱ」の授業では

「SS探究科学Ⅱ」の授業では、物理、化学、生物、数学、環境の5つの分野のゼミに分かれて課題研究をしています。ゼミの中で、さらにグループに分かれてテーマを設定し、課題研究を進めています。今年度は、「LEDの補光による紫蘇の生育への影響」や「液状化現象」などのテーマに取り組んでいます。課題研究で研究した内容は、さまざまな研究発表会や学会等で口頭発表やポスターセッションで発表していくことになります。各ゼミでの研究については、また「SSH News」のなかでお知らせする予定です。



★ 金環日食観測会



5月21日（月）朝7時過ぎにグラウンドに集合し、中学生と高校生が金環日食を観察しました。

生徒それぞれが、日食グラスを手に日食が進んでいく様子や見事な金環が浮かび上がる姿を観察しました。生徒はそれぞれ、見事な天体ショーに歓声を上げていました。また、見事に日食の形で地面に移っている木漏れ日を観察できたことも良い経験のようでした。1棟屋上では、高校地学部が天体望遠鏡等も使用し、本格的な観測をしました。



★ 1年 環境科学科 和歌山市内河川水質調査



5月25日（金）、4・5限の「SS探究科学Ⅰ・環境科学Ⅰ」の授業で、各班に分かれて和歌山市内の18カ所の場所に採水に行き、パックテストを用いてpH、リン酸イオンなど6項目の値を調べました。

この取組は、毎年環境科学科の生徒を対象に行われており、採水・検査などを正しい手順で行ったり、得られたデータを検証し、身近な河川の汚染について考察を深めていくことを目的としています。

今後、水質調査に関する学習として、SSH実験講座「水質分析」を行います。

和歌山大学教育学部の木村憲喜准教授をお招きし、水質分析の実験を行います。大学の先生から高度な水質実験を学習することで、分析等の理解を深めて欲しいと思います。

1年G組は7月18日（水）、1年H組は、7月19日（木）に講座を予定しています。